【介護職員等処遇改善加算に係る「見える化要件」について】

当法人では、職員の賃金体系の整備、計画的な研修機会の提供など職場環境整備を行い、
新加算の算定要件である「キャリアパス要件」「月額賃金改善要件」「職場環境等要件」の内
以下の要件を満たしている事で、介護職員等処遇改善加算が適用されています。

・キャリアパス要件
　介護職員の職位、職責、職務内容に応じた任用の要件などを定め、それに応じた賃金体系を整備する。
　介護職員の資質向上の目標や具体的な計画を策定し、それに沿った研修の機会を確保する。
　経験や資格に応じて昇給する仕組み、または一定の基準で定期に昇給を判定する仕組みを設ける。
　経験・技能のある介護職員のうち1人以上は、賃金改善後の賃金額が年額440万円以上であること。
・月額賃金改善要件
　新加算Ⅳの加算額の１/２ 以上を基本給等で配分する。
・職場環境等要件
　6つの区分ごとにそれぞれ2つ以上取り組む。ただし生産性向上は3つ以上、うち一部は必須。
　実施した取り組みの内容を情報公表システムなどで具体的に公表する。

・職場環境要件項目と当法人としての取組み

	職場環境等要件	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	毎月の会議や研修にて理念及びケアへの情報を共有している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	経験・年齢・を問わず採用を行っている。勤務時間帯の要望にも柔軟に対応している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得費用の補助、勤務シフトの考慮等を行い、研修や講習を受けやすい環境を整備している。また、eラーニングにて介護に関する学習を行える環境を事業所内に整備している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	介護職員の職位、職責、職務内容に応じた任用の要件などを定め、それに応じた賃金体系を整備している。賃金形態表を職員が閲覧できる場所に配置している。

両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児・介護休暇取得を推進している。働きながらの両立を望む職員には勤務シフトや業務内容の調整を行っている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情に応じて勤務時間や業務内容を柔軟に調整するように対応している。それに伴い周囲の職員への影響も最小限になるよう調整している。また、非正規から正規職員への転換も行っている。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、１週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	有給休暇取得促進に向けて有給休暇の仕組みについての社内研修を行っている。また、定期的に管理職からの有給休暇取得の声掛けも行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	事業所内では管理者が中心となりメンタルヘルス等の職員相談を定期的に行っている。また、事業所外にも専用の相談窓口の設置している。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間労働者にも正規雇用職員と同等の健康診断の受診を勧めている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	毎年の研修にて学習をしているほか、事業所内にマニュアルを整備している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築 （委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている	生産性向上推進委員会を定期的に開催し、業務改善等について話し合いを行っている。
	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等） を実施している	委員会構成メンバー以外の職員も話し合いに参加することで、より多角的な課題の抽出を行えるよう努めている。また、会議の議事録を介護事業所以外の部署にも共有している。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	各業務の手順書を作成し業務負担の軽減に努めている。記録、申し送りは電子媒体により効率の良い閲覧環境を確保している。

生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	介護記録ソフトの導入、タブレットの導入、Wi-Fiの整備、等行っている。なお介護ソフトはクラウドサービスによる複数端末からリアルタイムに接続できる形式を採用している。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツー ル含む）の導入	ベッドセンサーの導入を行い、介護業務の軽減・効率化を行っている。
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、 協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	当法人は単独の事業所の為、左記の要件については当事業所のみで行っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎月のミーティングによる話し合いの他、定期的に職員へのアンケート行い業務改善や職場環境改善に努めている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	社内研修やeラーニングを通して日々学ぶ機会を提供している。

有限会社矢吹薬局　グループホーム羽音